

昭和二十一年三月

紀子の

学舎疎用学園繪日記



一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

久米川の辺に川に夜通くつて返つて来た。夜通りの
 ので寝むらつて不祥婦どつたのが元氣だつた。内務省地
 下富山縣横光町で八日の学校に集合九日午後の卒業に
 了。用務の都合で見送りか出来なかつたのが斯くして
 高子も高子亭に芝の安宅宇気合江つ出かやておたか
 中句ニ丸も富山縣糸魚川へ学校疎開に加はつて生
 業してしまつた。

二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

... 終身に貫かす。... 此の如く、... 終身に貫かす。... 此の如く、... 終身に貫かす。...

終身に貫かす。... 此の如く、... 終身に貫かす。... 此の如く、... 終身に貫かす。...

終身に貫かす。... 此の如く、... 終身に貫かす。... 此の如く、... 終身に貫かす。...

昭和二十三年一月一日

一頁